令和五年度　漁業共済優績表彰

「令和五年度　漁業共済優績表彰者」が決定しました。

漁業共済優績表彰は、永年にわたり共済事故なく高度利用いただいている契約漁業者の中から、特に功績のあった方々を表彰するもので、今年度は全国から「水産庁長官賞」で二十三名、「漁済連会長賞」で六十名の方々が受賞されました。

北海道からは、「漁済連会長賞」で四名が受賞されております。

表彰を受けられた皆様に、心よりお祝いを申し上げますと共に、今後の大漁と益々のご活躍をお祈り致します。

≪優績表彰者≫

◎漁済連会長賞

森　　寛泰
（稚　　内　小型合併漁業）

嶋谷　秀世
（船　　泊　小型合併漁業）

佐藤　正紀
（南かやべ　こんぶ養殖業）

下池　崇仁
（南かやべ　こんぶ養殖業）

順不同　敬称省略

漁済連会長賞 受賞者

下池　崇仁　様
（南かやべ）

佐藤　正紀　様
（南かやべ）

嶋谷　秀世　様
（船泊）

森　寛泰　様
（稚内）

ぎょさい
積立ぷらす
安心経営
北海道漁業共済組合
御守り

令和５年度第１回「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会

令和５年度はぎょさい1,748億円、積立ぷらす189億円を加入目標に

加入率目標　ぎょさい90%、積立ぷらす85%に設定

「ぎょさいと積立ぷらす」の普遍的な加入実現のため、道庁及び在札系統団体の漁連・信漁連・基金協会道支所・共水連道事務所・共済組合で構成する「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会の第一回会議が七月二十四日、札幌市第二水産ビル五階の共水連会議室で開催されました。会議では住岡道水産林務部水産経営課長を新座長に選出し、令和二年度から四年度までの運動結果を報告、地区別漁種別の「マーケットとぎょさい・積立ぷらすの加入率」と、過去の運動結果を踏まえ、令和五年度は補償額でぎょさい（漁獲＋特定養殖）一千七百四十八億円、積立ぷらす百八十九億円、ぎょさい（定置漁具）九十三億円を目標に推進活動を実施する方針を確認しました。

議事では、令和二年度から四年度まで「～令和の備えも ぎょさいとぷらす～」をスローガンに行われた推進運動の成果等を説明し、漁業収入安定対策事業（ぎょさい掛金追加補助＋新積立ぷらす）を活用し加入推進を行った結果、複数の漁協・漁種で新規加入が実現し、令和四年度のマーケットに対する加入率は、ぎょさい（漁獲＋特定養殖）八十八%、積立ぷらす八十五%となり、加入は着実に増加しているものの、加入率の低い漁種がいまだに存在し、定置漁具についても、依然加入率が低い状況であること等、現状の課題等が報告されました。

▲座長の住岡水産経営課長

令和五年度の推進方策

令和五年度から新たに始まった、「ぎょさい普及推進全国運動」の取組みに呼応し、「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会と連携を図りながら、未加入となっている主要漁業・養殖業の解消や小型合併等漁船漁業の加入率向上を目指すと共に、定置漁具の掛金率引下げをＰＲし加入拡大を図り、「ぎょさい」と「積立ぷらす」の一層の浸透・定着を目指すこととしました。

本年度の共済組合の事業計画における重点推進項目は、①継続契約（積立ぷらすとのセット加入）における補償内容の充実、②未加入地域における主要漁業・養殖業の加入推進、③定置漁具（漁業施設共済）の加入拡大の三点であり、制度・事業への一層の理解を得るための方策、推進上の具体的な課題等について協議し、出席委員との意見交換、情報の共有を図ることが出来ました。

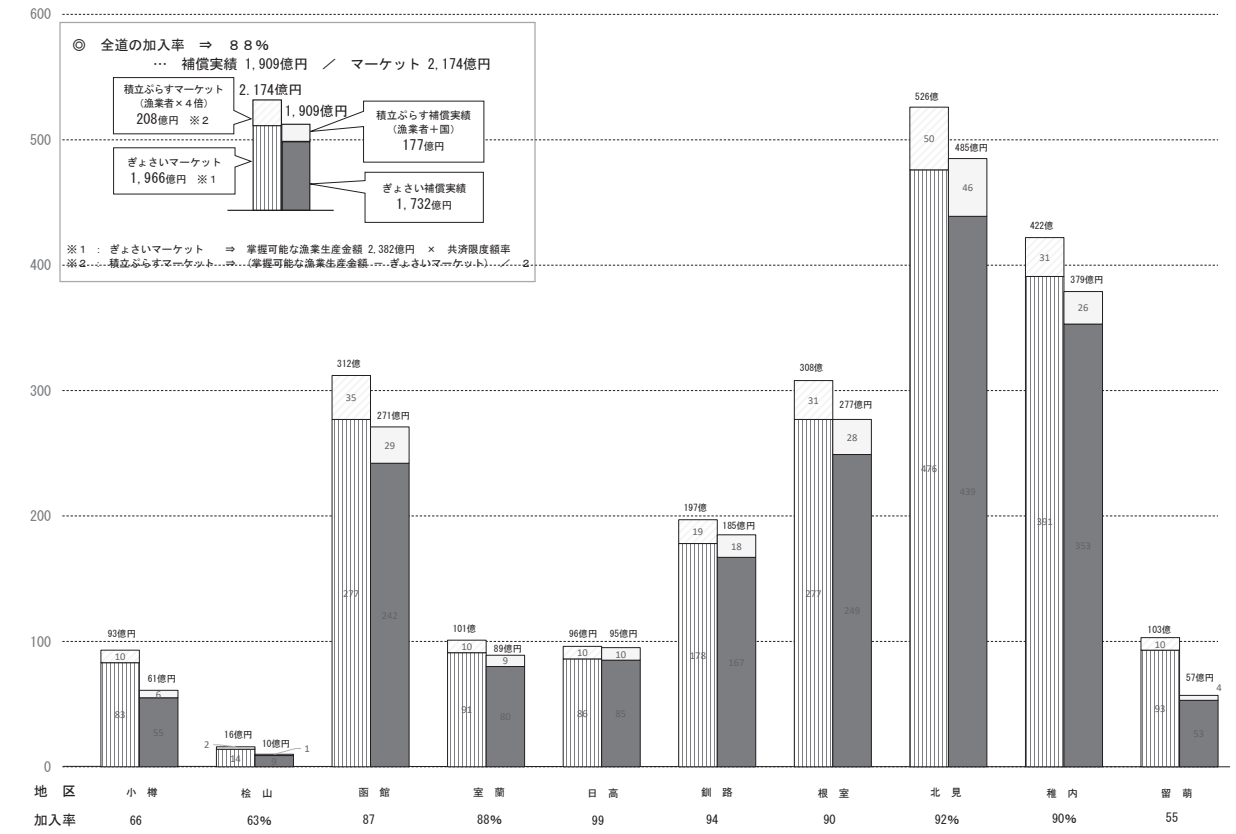
推進協議会　委員の皆様

▲共水連道事務所 宮部 所長代理　▲基金協会道支所 河内山 運営副委員　▲信連 小林 常務　▲漁連 瀧波 常務

【参考】

北海道漁業共済組合

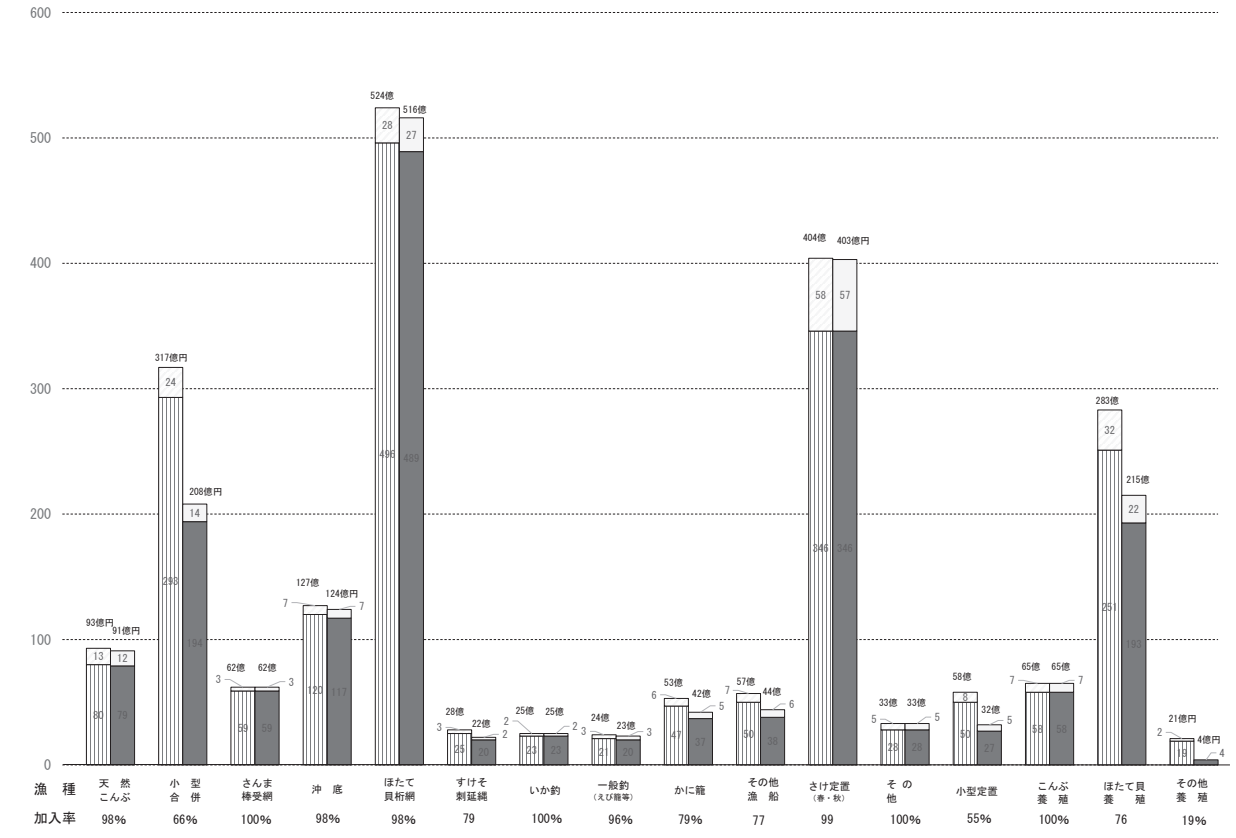
ぎょさい・積立ぷらす　地区別加入率（令和４年度マーケットと補償実績）



【参考】

北海道漁業共済組合

ぎょさい・積立ぷらす　漁種別加入率（令和４年度マーケットと補償実績）



令和五年度秋さけ定置の推進

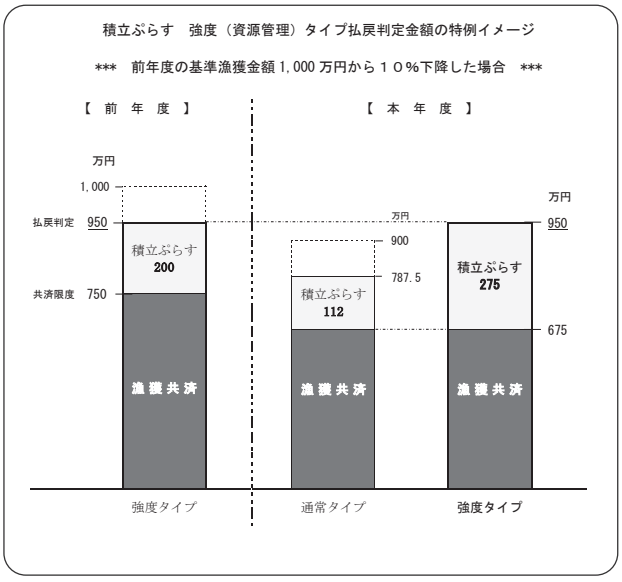
～「現地対話集会」～ ぎょさい・積立ぷらすの加入推進

六月二十八日～七月七日まで全道八地区で開催された北海道定置漁業協会主催の「現地対話集会」に共済組合も出席させて頂き、秋さけ定置漁業の昨年度の「ぎょさい・積立ぷらすの加入状況」等を報告すると共に、本年度の引受取扱い等について説明し、漁業経営の後ろ盾として、ぎょさいと積立ぷらすの積極的な利用を呼びかけました。

令和四年度の加入率（免許統数ベース）は漁獲共済で九十一％、積立ぷらすで八十九％と高い加入率を維持しており、共済金と積立ぷらすの支払合計額は九十八億四千三百万円となったこと等を報告しました。

また、本年度の取扱いについては、太平洋クロマグロ漁獲量削減について道の認める強度資源管理に取り組み、漁獲・放流実績があった場合には、積立ぷらすの払戻判定金額が前年度契約を下回らないよう措置される特例措置が昨年同様に実施されること、新型コロナウィルスの影響に対応した取扱いとして、積立ぷらす積立金の積立免除、積立猶予についても特例措置が講じられる見込みであることを説明しました。

最後に、近年、自然災害が多発していることや津波被害の対策として、漁獲共済・積立ぷらすと併せ、漁業施設共済への加入についても検討いただくよう依頼しました。



令和４年度　秋さけ定置　漁業権免許と漁業共済・積立ぷらす　地区別加入率

北海道漁業共済組合

地区	秋さけ関係免許統数		漁獲共済					積立ぷらす		漁業施設共済（定置漁具）	
	第14次免許統数	令和４年操業統数	令和４年加入統数			未加入統数	加入率	令和４年加入統数	加入率	令和４年加入統数	加入率
			秋さけ定置	大型定置	計						
小樽	213	198	128	6	134	64	68 %	126	64 %	23	12 %
桧山	29	27	27	－	27	0	100 %	27	100 %	2	7 %
函館	192	166	121	33	154	12	93 %	145	87 %	0	0 %
室蘭	40	39	39	－	39	0	100 %	39	100 %	9	23 %
日高	46	46	46	－	46	0	100 %	46	100 %	9	20 %
釧路	68	57	57	－	57	0	100 %	57	100 %	30	53 %
根室	161	155	154	－	154	1	99 %	153	99 %	20	13 %
北見	92	92	92	－	92	0	100 %	92	100 %	49	53 %
稚内	50	47	47	－	47	0	100 %	47	100 %	1	2 %
留萌	16	16	16	－	16	0	100 %	16	100 %	2	13 %
合計	**907**	**843**	**727**	**39**	**766**	**77**	**91 %**	**748**	**89 %**	**145**	**17 %**
前年度実績		856	731	39	770	86	90 %	753	88 %	152	18 %
前年度対比		△ 13	△ 4	0	△ 4	△ 9	1 %	△ 5	1 %	△ 7	△ 1